

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 経済倶楽部の新しいホームページ  
<http://www.keizaiclub.or.jp> にアクセスしていただけたでしょうか。インターネットの世界は日進月歩どころか、「秒進時歩」であり、ご感想をお聞かせいただけませんかと、ありがたいです。

さて、11月の講演会には塩田潮氏（ノンフィクション作家、評論家）、田中俊郎氏（慶應義塾大学名誉教授）、叶芳和氏（ウイリアム・マイナー農業研究所客員教授）、浪川攻氏（東洋経済新報社記者）をお招きします。

新会員を紹介します（順不同）。伊東良一氏、岡山信夫・農林中金総合研究所専務、鈴木直哉・クレハ専務執行役員、向井地純一・農林中金総合研究所顧問、牟田口昭氏。

（塚田 紀史）

◆中部◆ 毎回の定例講演会で話をされる講師の見解で目立つのは問題点を指摘するタイプのもので。人選がそうなのだと言ってしまうはそれまでですが、聞き終わってやや悲観的な気分になるのもいつものパターンです。ところが、投資ファンドを運営する澤上篤人氏のお話は職業上の強気とばかり言えない明るい指摘がありました。それは二つのホワイトボードを使った説明で、片方は欧米を中心にした右肩上がりでの膨れあがる金融債務の折れ線グラフ。もう一方は世界の人口増加のグラフです。このうち日々注目されているのは圧倒的に金融債務問題のグラフですが、目を横に転じると拡大を続ける世界人口があり、そこから膨大な需要も想定されます。ただし、注目する人は少ないという指摘です。心に留めていい指摘だと思います。

11月の講演会は著書『磯野家の相続』の弁護士・長谷川裕雅氏、政治診断で田中秀征氏、中国問題で富士通総研・柯隆氏を予定しています。

（日暮良一）